

佐賀県信用保証協会ホームページリニューアルについて

次のとおり企画コンペの募集を行います。

令和6年6月17日

佐賀県信用保証協会

1 業務内容

- (1) 委託業務名 佐賀県信用保証協会ホームページリニューアル業務
- (2) 委託業務の仕様等 提案依頼書(RFP)による
- (3) 履行期間 契約締結日から令和6年12月末日まで

2 参加資格に関する事項

本件企画コンペに参加を希望する者は、次に掲げる要件の全てを満たす者であることを要する。
なお、資格要件確認のため、協会を管轄する佐賀県の担当課に照会する場合がある。

- (1) 会社更生法(平成14年法律第154号)又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき更生手続開始又は民事再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (2) 公募開始の日の6か月前から契約の日までの間、金融機関等において手形又は小切手が不渡りとなった者でないこと。
- (3) 佐賀県発注の契約に係る指名停止措置若しくは入札参加資格停止措置を受けている者又は佐賀県発注の請負・委託等契約に係る入札参加一時停止措置要領に該当する者でないこと。
- (4) 自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者でないこと、及び次のイからキまでに掲げる者が、その経営に実質的に関与していないこと。
 - ア 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)
 - イ 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員を言う。以下同じ。)
 - ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
 - エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
 - オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
 - カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

3 手続等に関する事項

- (1) 担当課 佐賀県信用保証協会 企画総務部 企画デジタル課
郵便番号 840-8689 佐賀県佐賀市白山二丁目1番12号
電話番号 0952-24-4330
ファックス番号 0952-24-4387
電子メールアドレス densan@saga-cgc.or.jp
- (2) 提案依頼書及び実施要領の交付期間及び方法
令和6年6月17日(月曜日)から同年7月5日(金曜日)午後5時まで佐賀県信用保証協会ホームページに掲載する。

4 説明会の日時及び場所

本企画コンペの説明会は実施しない。

5 参加資格の確認

本件企画コンペに参加を希望する者は、企画コンペ参加申込書に関係資料を添付のうえ、上記担当課に電子メールで送信し、参加資格の確認を受けること。

提出期限 令和6年7月5日(金曜日)午後5時まで

参加資格の確認結果は、令和6年7月上旬に通知する。

6 提案書の提出

関係資料を添付のうえ、上記担当課に持参又は郵送すること。

- (1) 提案書の内容及び提出部数は、別紙(企画コンペ実施要領8)のとおりとする。
 - (2) 提出期限 令和6年7月26日(金曜日)午後5時まで
- ※ 郵送の場合は、配達事故を防ぐため、配達記録が残る方法とすること。

7 プレゼンテーションの日時及び場所

- (1) 日時 令和6年8月上旬
 - (2) 場所 佐賀県信用保証協会 3階 大会議室
- ※ プレゼンテーションは参加者毎に行う。参加者毎の開始時間は別途連絡する。

8 結果の通知

審査会終了後、書面によりすべての参加者に対し通知する。

9 評価に関する事項

- (1) 評価基準(配点入り)は別添2「佐賀県信用保証協会ホームページリニューアル業務企画コンペ審査基準表」のとおりとする。
- (2) 提案書の内容に未記入箇所がある場合、添付資料等の不備により記載内容が確認できない場合は、該当する評価項目は0点とする。
- (3) 評価基準には、提案内容の水準を確保するため、最低基準点を定める。

10 その他

(1) 見積書について

見積書に記載する金額は、見積もった契約希望額（消費税及び地方消費税額を含む金額）とする。

(2) 失格要件

次のいずれかに該当する場合の提案は無効とする。

- ア 参加する資格のない者が行った場合
- イ 本件企画コンペ手続について不正行為を行なった場合
- ウ 見積書の金額及び氏名について誤脱又は判読不可能なものを提出した場合
- エ 1人で2以上の提案をした場合
- オ 代理人でその資格のない場合
- カ 提案書の重要事項が適切に記述されていない場合
- キ 虚偽記載、その他不正な行為があったと認められる場合
- ク 前各号に掲げるもののほか、競争の条件に違反した場合

(3) 企画コンペ手続の中止

次の各号のいずれかに該当する場合は、本件企画コンペ手続を中止する。この場合の損害は参加者の負担とする。

- ア 参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、本手続を公正に執行することができないと認められるとき。
- イ 天災その他やむを得ない理由により、本手続を行なうことができないとき。

(4) 最優秀提案者の決定方法

提出書類およびプレゼンテーションの内容を基に、企画提案を100点満点で採点のうえ、合計得点の最も高い業者を委託候補者とし、最高点が同点の業者が2者以上ある場合は、見積金額がより低い業者を委託候補者とする。なお、合計得点60点以上を最低基準とし、これに満たない者は委託候補者としない。

応募者が多数の場合は、書類審査の段階で絞り込みを行った上でプレゼンテーションを行う。

(6) 参加者に求められる義務

参加者は、提出した関係資料等について説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

なお、提出された資料については、当該業務に関する目的以外には使用しない。

(7) その他

実施要領及び提案依頼書による。